

IAEAによる東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出に関する包括レビューミッションが行われました

2023年6月2日

▶エネルギー・環境

5月29日から6月2日にかけて、IAEA（国際原子力機関）の関係者が日本を訪れ、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出に関する包括レビューミッションが行われました。

概要

5月29日から6月2日にかけて、IAEA（国際原子力機関）の原子力安全・核セキュリティ局のグスタボ・カルーソ調整官（Mr. Gustavo Caruso, Director and Coordinator for the Fukushima ALPS project, in the Department of Nuclear Safety and Security of the International Atomic Energy Agency）を含む8名のIAEA職員と、9名の国際専門家（アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、中国、韓国、フランス、ロシア、米国、ベトナム）が日本を訪れ、ALPS処理水の海洋放出に関する包括レビューミッションが行われました。

ALPS処理水の海洋放出に関するレビューは、IAEAとの間で2021年7月に署名したALPS処理水の取扱の安全性に係るレビューの包括的な枠組みに関する付託事項（TOR）に基づき実施されているものです。

包括レビューミッションでは、IAEA職員及び国際専門家は、ALPS処理水の海洋放出の安全性について、IAEA国際安全基準に基づいて、技術的事項を議論しました。会合の概要及び東京電力福島第一原子力発電所の現地調査の概要は、以下のとおりです。

1. 日本政府及び東京電力との会合

今回の包括レビューミッションでは、これまでの個別のレビューを踏まえた事項について議論が行われました。

これまでに実施した（1）ALPS処理水の安全性に関するレビュー、（2）規制に関するレビューについて、日本側から最新の状況に関する情報提供及び説明を行いました。

今回の包括レビューミッションの議論については、IAEAから今後公表される予定の包括報告書に反映されることが見込まれています。



- IAEAタスクフォースの団長
グスタボ・カルーソ調整官



- 会合の様子

2. 東京電力福島第一原子力発電所の現地調査

6月2日、IAEA職員及び国際専門家は、東京電力福島第一原子力発電所を訪問し、ALPS処理水の海洋放出に関する工事状況や準備状況の現地確認を行いました。
また、一部IAEA職員は、5月24日及び25日に東京電力福島第一原子力発電所を訪問し、原子力規制庁が行うALPS処理水海洋放出関連設備の使用前検査に立ち会いました。

担当

資源エネルギー庁
原子力発電所事故収束対応室調整官 田辺
担当者: 泉井、浦田
電話: 03-3501-1511(内線 4441)
メール: bz1-hairo-syorisuitaisaku★meti.go.jp
※ [★]を[@]に置き換えてください。